

『人権破壊工場』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『人権破壊工場』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『人権破壊工場』を読んだことのある10代～50代の男女17名
調査期間	2026年4月7日～2026年4月8日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/zink-enhakaikouzyou/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『人権破壊工場』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	3人
20代女性	0人
30代男性	2人
30代女性	4人
40代男性	4人
40代女性	3人
50代男性	0人
50代女性	1人

Q2: 『人権破壊工場』の感想を教えてください。

人権破壊工場	破壊工場の初期作品ですが、ここに全部が詰まっている感じで楽しめます。特にいいのは表情。これが他の作品とは異なり、ウブでしかもリアルに反応しているところが最高です。彼女たちにとっては悲劇でありつつも、どこか幸せを感じているような。そんな加害者目線でみてしまう恐ろしい作品でもあり、とても実用的です。
--------	--

人権破壊工場	まず、シチュエーションが他の漫画ではあまり味わえない為、唯一無二で繰り返し読みたくなります。女性キャラを人としてではなく、まるでモノのように扱う、機械などを使用した責めはかなりの見所です。出てくる女性も可愛くて、絵が好みます。この漫画の作者にはどんどん続編を描いて欲しいと思えるほどの良作だと思いました。
人権破壊工場	大好きな作品だけに、もっと長い作品を期待してしまいます。そのくらい好きになりました。というより、リリース時点ではここまで売れる作品になると思っていなかったのでは。オトナ漫画の中でも、すごどかつ売れたイメージがあります。もちろん、売れるだけあって中のクオリティは抜群。似たテーマの作品は思っていたよりもたくさんありますが、やっぱりこの作品が一番しっくり来ます。
人権破壊工場～ 快楽受動体ライン～	もう完全にライン化していて、まさに工業製品のように機械的に行われていく教育。破壊というよりも、作り変えていく表現が正しいのかもしれませんが。脳という最大の領域にまで侵入して来る恐怖ってすさまじいものだと思いますが、それをビジュアル的に上手く表現しているのもすごい。こんな作品に出会えたことに感謝します。
人権破壊工場～ 快楽受動体ライン～	個人的にはとても刺さった。特に男性の直接的な描写が無かった所が良い。10ページ目のような脳に直接的に送り込むような描写が個人的にはすごく好みだった。機械的な処理で人間の尊厳を破壊する描写は非常にそそられる。調べてみたところによるとこの作品は続き物のようだったので、ぜひ前作も読んでみたいと思った。
人権破壊工場～ 快楽受動体ライン～	人権破壊工場でも取り扱う個体にランクがあって、今回は教育の過程でぶっ壊れちゃって廉価版に分類された女の子がどんな扱いを受けるかを克明に描写しています。内容的にはまだこの下があったのかというやり方で扱われてて、そのあまりの非道さに思わず震えてしまいました。これは刺さる人にはたまらないものがあるよなあ。内容的には機械や脳への直接的な刺激といった感じの物が中心ですので、そういったアイテムによる責めに抵抗がない方ならドキドキできると思います。
人権破壊工場～ 出張修理サービス～	壊れたら叩いて直すという昭和のテレビのようなやり方を、なんと女の子に適用してしまう狂った設定です。修理と言いつつ、さらにポロポロに破壊していくところに矛盾を感じますが、そこがまた背徳感を感じられて良いです。他シリーズと同様、登場する女の子が可愛くて、絵も上手い為、読んでいて非常に没入できます。他シリーズも良いですが、こちらよりリピート確定です。
人権破壊工場～ 出張修理サービス～	とても怖い内容ではあるのですが、絵がグロくないのでわりと淡々と進んでいきます。ストーリーがしっかりとしたお話というわけでもなく、語り手のナレーション的なセリフも淡々と女性をバカにしている感じ。読む人を選ぶ作品ではあると思うのですが、読めば読むほど癖になっていきます。今作は出荷された後に完全に壊れてしまった女性の話。シリーズの中でもぶっとび具合はトップクラスだと思います。
人権破壊工場～ 出張修理サービス～	不良品や故障品があれば修理し好感してくれるアフターサービスチーム。普通の電化製品とかであればありがたいサービスですが、この工場に関しては悪魔としか言いようがないですね。完全に壊れてますね、とかすっげえ顔とか。そうなるのには女の子たちはどれだけ最悪な仕打ちを受けてきたというのでしょうか。なのにかっこ笑いが付いてるのが怖い。
人権破壊工場～ 完全破壊マニュアル～	グラマー君、これが本当にヤバめです。よくある触手かなと思いきや、人格破壊工場ならではのねっとりとした攻めで楽しませてくれます。女の子のリアクション、そしてバリエーションも本当に豊か。よくこんな多彩な反応を思いつくという感じで、好きなセリフも今作多めでした。これ以上ドキドキできるシチュエーションはないと思います。
人権破壊工場～ 完全破壊マニュアル～	かわいそうなお話にドキドキしてしまう方なら、シリーズの中でもこのお話をおすすめします。こっちは後ろにも焦点があたっていたり、ただ狂わされるだけではなく苦痛を描いた作品でした。シリーズの中でも一番人を選ぶ作品かな？と思います。読んでいて辛くなる部分もありますが、メインのちょっと芋臭い女の子がかなり可愛くて、おすすめのお話です。
人権破壊工場～ 完全破壊マニュアル～	ベルトコンベヤー方式で流れていく女の子たち。その中から一人の子をピックアップしてのこの作品は、よりかわいそう感が増しました。悪い例って、ほんとナレーションは彼女たちの人格無視でとことん非情に扱いますね。どうなってもいいって思っているからこそどこまでもめっちゃめっちゃにされてしまう女の子たち。本当にかわいそう。

人権破壊工場～ アクメシンクロ装 置～	シンクロしつつも、女性を徹底的に限界まで責め立てる…。この残酷さ、そして嗜虐心を刺激する内容。マニア向けです。それは否定できませんが、それよりも「女性の反応」に着目して欲しい。スポーツ経験ありとか、女性の個性がチラ見えするのもいいですね。元々はまともな子だったのに、それが完全に崩壊していくのがとてもいいです。
人権破壊工場～ アクメシンクロ装 置～	シリーズのお話がどんどん増える中で、どれも同じようなお話にならないように努力されているのがわかってとても好印象でした。今作はいわゆる感覚共有がテーマになっていて、脳に直接来る感じがたまりません。もちろん物理的な責めも良いのですが、感覚共有ってどういう感じなのか体感できないからこそ、余計にドキドキしちゃうなと思いました。
人権破壊工場～ アクメシンクロ装 置～	アフターサービスも万全ならばそこで使われている器具もかなりのもの。この技術力を、もっと違うことに使ってくれたらいいのにと強く思います。より多くの不幸な女の子たちを作り出す装置。最悪です。相変わらずナレーションが不気味。かわいそうを面白がっている。工場モノでこれだけいろいろな考えられるよなと感心します。
人権破壊工場～ 廃棄物処理場～	相変わらず、凄まじいアイデアですね。プールというのは、初めて見ました。さすがにこの処理の仕方はひどすぎますね。そして、命を落とした後も、おもちゃとして販売されるは、飲み物として再利用されるはで無駄がなさすぎます。短編ですが、鬼畜さは本編に負けませんね。
人権破壊工場～ 廃棄物処理場～	総集編のオマケなので、そこまで期待していなかったんですが、おそらくここまで発売されているシリーズ作品で、最もぶっ飛んだ話ではないでしょうか。廃棄物処理場という名の通り、雑に廃棄されてしまいます。とはいえ、廃棄したものを商品にしてしまうという。よくこんなことを思いつくものだと感心しました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス